

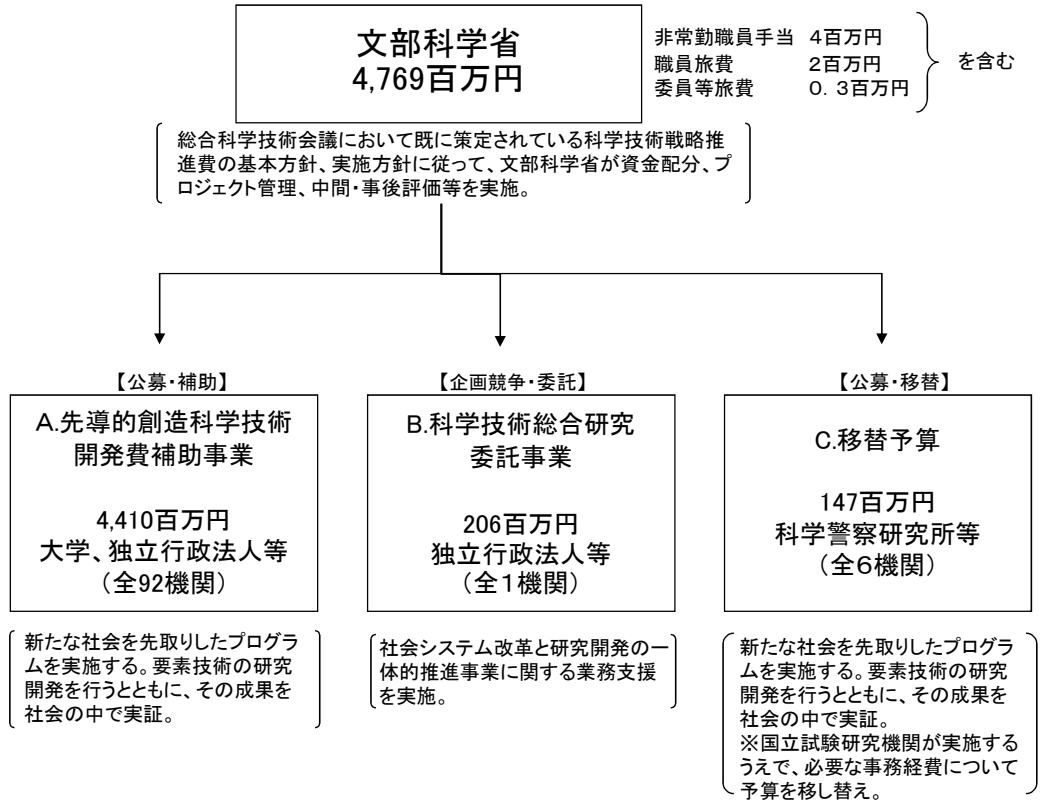
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	社会システム改革と研究開発の一体的推進事業		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	科学技術・学術戦略官 (制度改革・調査担当) 林 孝浩	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成29年度		担当課室	科学技術・学術戦略官付 (制度改革・調査担当)				
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 科学技術・学術政策の総合的な推進 7-3 科学技術システム改革の先導				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文部科学省設置法第4条46号		関係する計画、通知等	平成25年度の科学技術戦略推進費の概算要求方針 (平成24年9月6日総合科学技術会議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術イノベーションを推進するため、地域や利用者のニーズを踏まえた研究開発とその成果の実利用、普及段階で隘路となる社会システムの転換とを一体的に推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>科学技術戦略推進費に関する平成24年度行政事業レビュー公開プロセスの結果等を踏まえ、平成24年度まで科学技術戦略推進費で実施していた継続プロジェクトについては、文部科学省所管の目定事業「社会システム改革と研究開発の一体的推進」として実施することとなった。</p> <p>○総合科学技術会議において既に策定されている科学技術戦略推進費の基本方針、実施方針に沿って、「研究開発」と「社会システムの転換」との連携・調整によりイノベーションを創出するプロジェクトの実施</p> <p>○プロジェクトの実施機関のうち、国立試験研究機関については、文部科学省より移替え</p> <p>○当該分野の専門家をプログラム・オフィサーに選任し、実施計画の調整、助言等、プログラムのマネジメント</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	—	—	4769	2,553	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	—	—	—	4769	2,553	
	執行額	—	—	—	—	—		
	執行率 (%)	—	—	—	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	成果実績	本事業は、総合科学技術会議が策定した科学技術戦略推進費の実施方針において示された目標を引き継いでいる。実施方針では、プログラム毎の達成目標が示されており、課題実施機関はその目標を達成するよう計画を立て事業を実施する。実施方針に示された達成目標としては、例えば「安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム」においては、「犯罪・テロ対策技術等について、関係府省庁との連携体制の下、具体的な現場ニーズに基づいた研究開発テーマを設定し、技術開発及び実用化に向けた実証試験までを一体的に行い、ニーズ側府省庁等が要求する実用に資する機能・性能を達成できること。」とされている。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施プロジェクト数		活動実績 (当初見込み)	プロジェクト数	—	—	—	— (58)
単位当たりコスト	78.6 (百万円/プロジェクト)		算出根拠	単位あたりコスト=プロジェクト実施にかかる費用(百万円)/実施プロジェクト数(プロジェクト) 78.6=(4,769-212)/58				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	34百万円	5百万円	プロジェクト数の減少等、「新しい日本のための優先課題推進枠」1,863百万円				
	諸謝金	0.9百万円	0.3百万円					
	職員旅費	13百万円	13百万円					
	委員等旅費	6百万円	0.8百万円					
	外国人招へい旅費	0.7百万円	0.7百万円					
	試験研究費	98百万円	71百万円					
	招へい外国人滞在費	0.3百万円	0.2百万円					
	科学技術総合研究委託費	206百万円	185百万円					
	先導的創造科学技術開発費補助金	4,410百万円	2,278百万円					
計	4,769百万円	2,553百万円						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業で実施する課題は、科学技術に係る施策の中でも、総合科学技術会議が各府省の施策を俯瞰し、それを踏まえて立案する政策を実施するために必要であるとされたものであり、優先度が高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先の選定に当たっては、各課題については開始時に公募を実施し、業務支援については毎年十分な公告期間を確保した上で企画競争を実施することとしており、その妥当性や競争性を確保している。 ・補助金の交付決定に当たっては、事前に年度計画に対応した経費の積算を提出させ、精査している。また、終了後には、額の確定調査を実施し、使途の把握を行う。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、総合科学技術会議が各府省の施策を俯瞰し策定した実施方針において定められた目的・達成目標・実施体制等に基づき、課題を実施する。 ・また、各課題については、PD・PO制度を設けて管理するとともに、評価制度を設けており、達成目標に向けた取組がなされているか確認する。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、科学技術戦略推進費に関する平成24年度文部科学省行政事業レビュー公開プロセスの指摘等を踏まえ、継続課題について、効率的・効果的な運用が出来るよう、文部科学省の目定事業として実施するものである。各課題については、PD・PO制度を設けて管理するとともに、中間評価や再審査(中間年に継続可否を審査)、事後評価、追跡評価などの評価制度を設け、翌年度計画に対応した経費の積算を提出させるなど、事業を効率的・効果的に実施する制度を整えている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は現時点で執行面における課題も生じていない。また、成果目標及び活動指標も立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ○科学技術戦略推進費に関する基本方針(平成23年5月13日総合科学技術会議決定) http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/20110513suishin.pdf ○平成25年度の科学技術戦略推進費の概算要求方針(平成24年9月6日総合科学技術会議決定) http://www8.cao.go.jp/cstp/budget/25suishinhi-gyhoushin.pdf ○総合科学技術会議 http://www8.cao.go.jp/cstp/index.html 						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.ゲノム情報と電子化医療情報などの統合によるゲノムコホート研究の推進プログラム			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業実施費	研究開発、実証等	156			
人件費	人件費	64			
計		220	計		0
B.独立行政法人等(1機関)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	109			
国内旅費	国内旅費	21			
雑役務費	雑役務費	15			
借損料	借損料	13			
諸謝金	諸謝金	10			
印刷製本費	印刷製本費	6			
その他	消耗品費、外国旅費、会議開催費、 通信運搬費、消費税相当額	13			
一般管理費	上記の10%	19			
計		206	計		0
C.科学警察研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
試験研究費	試験研究費	51			
その他	職員旅費、諸謝金、委員等旅費	5			
計		56	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0